



生駒市立鹿ノ台小学校

# 鹿小だより



鹿ノ台ホームページ

令和 6年 9月 30日

第 14 号

## 授業風景

### 文の書き換え-4年-

**おじいさんは、おにぎりを追いかけてあなにおちてしまって、そのあなにネズミがたくさんいました。\***

国語の授業で、4年生がタブレット端末を使って伝わりやすい文を書く学習をしていました。

子どもたちの日記や作文を読んでいると、一文が長く、読点(、)ばかりで続けて書いている文に出くわすことがあります。途中で主語が変わってしまう主述のねじれた文になっている文も見かけます。この授業には、よろしくない文章のサンプルを分かりやすく書き換える活動を行い、子どもたちに意識して文章を書いてほしいとの担任の思いがありました。

教材は、子どもたちがよく知っている昔話(「おむすびころりん」や「浦島太郎」)の一場面を先生がよろしくない書き方で書いた1行目掲載の文章(\*)です。

タブレット端末のアプリ、ロイロノートに教材文が書かれたカードが送られてくると、子どもたちは思



い思いに文の書き換えを始めました。文章を書き換えると、ロイロノートの画面左端にある「提出箱」に、自分が書いた文章のカードをドラッグします。「提出箱」を先生が「共有」すると、提出された全員分をタブレット端末で各自見られるようになります。誰の文章が分かりやすいのか、アンケート機能を使って投票していました。

投票の結果、たくさんの人から「分かりやすい」と評価

された子のカードを大型モニタに映して、何が良いのか話し合いました。

「この子の文章は、一文が短くなっている。」

「言葉を補っているとイメージがわかりやすい。」



先生は、一文を短くすること、接続詞を使うことを次の目標にして、2つ目の教材文を与えました。「浦島太郎」の書き出しの部分です。教材文を見て、子どもたちはすかさず、

「一文が4行もある。」

「はじめからマル(。句点)まで長い。」

「区切りがないから読みにくい。」

と問題点を指摘します。

1文を短くしようとする子が増えていました。「分かりやすい」とみんなが投票した子の書きぶりを参考に、言葉を補ったり接続詞を工夫したりする子が出てきました。書き換えながら、「わかりやすくするのに、順番をかえてもいい?」と訊ねる子も現れました。もちろん、一度の取組ですべてうまくいくわけではありません。でも、こうした意図的な学習や継続的な指導が必要です。



今年度の重点目標の一つが、「書いて表現する意欲を高め、表現力を育成する」です。特に教科書で取り上げられてはいませんが、子どもたちにつけたい力を考え、担任が工夫して取り組んでいます。

1年生は  
気づきの学年

## 凸凹をこすって模様をつくる

1年生のあるクラスが、B4の上質紙を手にピロティで絵のようなものを描いていました。

昇降口前のアスファルトや渡り廊下のコンクリート、タイル、プラスチック製のオレンジ色のマット等に紙を敷いて、クレパスでこすっています。面の凸凹で、拓本のようにおもしろい模様が描かれていきます。

「先生、これ、どこかわかる？」

「これ、ここやねんで」

「これ、なんか魚のうろこみたいになった」

「ここでこすったらどうなるんやろ？」



クレパスを寝かせて同じ側面だけで紙にこすりつけるため、側面の一部が平らになっています。それを見て、「(クレパスの)ここだけまっすぐになった」と、自分の気づきを報告してくれます。

そんな子どもたちの様子を見ていた先生が、「1年生という学年は気づきの学年なんだろう…」と話してくれました。いろいろなことを試して、気づいたり、発見したりしながら自分の世界を広げていく1年生。1年生のはじけるような気づきの報告の連続と「気づき」について教えてくれたことにうれしくなってきました。

私がたまたま目にしたこの日は、どこでこするとどんな模様ができるのか、たくさん試す日でした。いっぱい気づきが生まれたことでしょう。この後、様々な模様の紙を切ったりちぎったりして貼り付け、作品に仕上げていきます。

## 英単語カルタ -5年-

5年生英語の終盤、英単語のカードを使ったカルタ取りをしていました。kind, smart, cute, popular, brave, cool...の性質(性格)を表す英単語とともに、なぜか愛嬌のあるバナナのキャラクターが、英単語の雰囲気を出した姿で描かれています。

「She is...kind!」のように読み上げた単語のカードを取り合います。2回戦は、「親切」のように日本語訳を言います。

英語で言われるよりも、日本語を聞いてカードを取り合う方が、お手付きが多いようでした。



以前、子どもたちと一緒に育友会行事として行っていた除草作業。コロナ禍以降代わりとして育友会の予算で業者さんに草刈りをしていただいています。運動会練習を前に、スッキリさっぱり。ありがとうございました。

## はじめての代表委員会？

中休み、校長室の扉をノックする音がしました。扉を開けてみると3年生の子が2人。

「短冊を持って行く教室はどこですか」

「短冊」とは、事前に学級で話し合っただけでクラスの意見を書いたA3用紙を縦に切ってつないだもの。どうやら、この日昼休みに行われる代表委員会の場所を知りたかったようです。

代表委員会は、3年生以上の学級代表と委員会の委員長が出席します。進行は児童会の子ども達。

訪ねてきた3年の子たちは、今回の代表委員会に初めて出席するのでしょうか。開催場所が「相談室」や「家庭科室」など低中学年にはなじみの薄い特別教室で行われます。短冊の提出は、昼休み代表委員会に直接持って行けばよいので、事前に教室の下見をしたかったようです。学級の代表として参加するのだからという意気込みの表れなのかもしれません。

## 運動場の草刈り

